
第4章 計画の基本的な考え方

第4章 計画の基本的な考え方

第1節 基本理念

だれもが安心して地域で暮らし続けていくためには、住民同士がふれあい、お互いに心と心を通わせあい、支えあっていくことのできる豊かな人間関係を地域社会の中に築いていくことが必要です。

倉敷市社協では、そのような地域社会の実現を目指して平成22年に第1次倉敷市地域福祉活動計画を策定し、地域福祉活動の基盤整備に取り組んできました。

そこで、第2次の計画では、既述の行政計画における地域福祉施策を踏まえつつ、第1次計画で進められた基盤整備をさらに充実させることを目指して、第1次計画の基本理念を踏襲することとします。

「和気あいあいの倉敷まちづくり」
～みんなで話しあい、学びあい、支えあい～

第2節 基本目標

計画では、基本理念の実現に向けて、3つの基本目標を設定しました。

これにより、倉敷市地域福祉計画で実施された市民アンケート調査に加え、倉敷市社協が実施した住民福祉座談会、団体ヒアリングの意見等を集め、課題を整理し、「共助」により解決を図ります。

(1) 互いに助けあい、支えあう地域づくり

地域で安心して生活していくためには、住民同士の助けあいや支えあい活動が必要不可欠となります。そこで地域において交流や福祉意識の高揚につながる機会を増やすことで、人と人とのつながりを強め、住民同士の助けあいや支えあいを促進します。

また、地域福祉活動に参加しやすいようにボランティア活動に関する情報提供や、活動の基盤となる地区社協やボランティア団体などの活動支援に取り組みます。

(2) 誰もが安心して福祉サービスを受けられる地域づくり

複雑で困難な課題があっても、地域で安心した生活を送るために、公的なサー

ビスに加え、住民参加による生活支援サービスなど様々な担い手による支援体制の充実を図り、地域で包括的な支援を受けることができるよう基盤整備の推進に取り組みます。

また、様々な福祉情報の提供体制を充実し、支援が必要な時に的確な福祉サービスにつながるよう相談体制の整備に取り組みます。

(3) 地域で安心して暮らすための基盤づくり

支援が必要となった場合は、本人の権利が侵害されないよう意思決定支援や地域住民の理解促進を図るなど権利擁護の推進に取り組みます。

また安心・安全な地域を目指して地域住民、関係機関との連携を図り、地域の防犯、防災力を高めながら犯罪が起こりにくい環境づくりや災害に強い地域づくりを推進します。

第3節 重点目標

基本目標に基づき、次のとおり重点目標を立て、活動を展開していきます。

(1) 地域における絆の強化

地域での見守りや支えあいを実現するためには、世代や性別、障がいの有無などにかかわらず、地域の人々がお互いを認め合いながら社会参加や交流を通じてつながりを深めていくことが重要になります。

そこで、住民同士の交流の機会や場を充実させ、地域における絆の強化を図るとともに、地域の課題を協議する場の設置や見守り、助けあいの仕組みづくりを進めます。

(2) 地区社会福祉協議会活動の促進

地域の特性によって異なる生活課題の解決を図るために、地域の実情に応じた多様な団体や個人の参加を進め、推進組織となる地区社協の設置と活動の充実を図るとともに、地区の実情、課題に向き合った活動計画の策定に取り組みます。

(3) ボランティア・NPO法人等の活動の促進

地域における福祉活動の活性化を図るために、ボランティア情報や参加の機会を積極的に提供し、より多くの人々が参加し、地域活動の担い手となるような働きかけを行います。

(4) 地域福祉の意識の醸成

町内会や地域活動団体、地域住民が地域課題を自らの問題と捉え、その課題解決

のために主体的に取り組むことができるよう広報・啓発活動を行うことで、地域福祉の意識の醸成を進めます。

(5) 情報提供・相談支援体制の充実

支援を必要とする人が課題の早期解決のために、自分にあった福祉サービスや各種制度などの情報を得ることができるよう情報提供の充実を図るとともに、適切な福祉サービスにつながるよう相談支援体制の整備に取り組みます。

(6) 多様な福祉サービスの基盤整備

複雑化する福祉ニーズの充足にむけて迅速かつ柔軟な支援が行えるよう、多様な担い手による支援体制を構築し、地域で包括的な支援が受けられるよう基盤整備に取り組みます。

(7) 支援を必要とする人の人権の確保

認知症や障がいなどで判断能力が低下した場合でも、必要な福祉サービスが適切に受けられるよう成年後見制度や日常生活自立支援事業の利用支援の充実を図ります。

(8) 地域防犯・防災力の強化

地域の防犯・防災力を高めるため、関係団体との連携を強化し、災害時の支援が円滑に行われるよう災害ボランティアセンター³³の運営の検討など、普段から防犯・防災に対する意識の向上を図ります。

³³ 災害ボランティアセンター…災害発生後、被災地で行うボランティア活動を効率よく推進するために設置され、被災者の支援ニーズを把握し、災害ボランティアの受け付け、その活動の支援などの機能を持つ。

第4節 計画の体系図



